

三重県新しい公共支援事業 概要

「新しい公共支援事業」は、「新しい公共」の主要な担い手として期待されるNPO等が、行政に過度に依存することがなく、自立的活動を実施することを間接的に支援することを目的として、国の平成22年度補正予算(11月)において成立した事業です。各都道府県には新しい公共支援事業交付金が交付され、各都道府県はそれを受けて基金を造成し、平成23年度から2年間事業を実施しました。

*この事業における「NPO等」とは

特定非営利活動法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等の民間非営利組織を言います。

新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業【平成23年度～24年度】

県民や企業などのNPO等の活動に対する認知を高め、NPO等に人材・資金・情報等の資源が循環する仕組みの構築を目指しました。事業は地域の特性や事情に応じたものとするため、各県民センター(当時)管内単位での実施を基本として公募しました。

●事業実施団体 (主に事業実施にあたる地域)

1

- ・特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
- ・四日市NPO協会 (旧)四日市セクター会議
- ・特定非営利活動法人 市民ネットワークすずかのぶどう
- ・特定非営利活動法人 津市NPOサポートセンター
- ・特定非営利活動法人 Mブリッジ①
- ・特定非営利活動法人 Mブリッジ②
- ・特定非営利活動法人 いせコンビニネット
- ・特定非営利活動法人 なばりNPOセンター
- ・東紀州コミュニティデザイン

新しい公共推進指針(仮称)策定事業【平成23年度～24年度】

「新しい公共」を長期的な視点により、かつ戦略性をもって進めていくため、「新しい公共」を支える人材、資金、情報等の資源のあり方や、NPO、行政、企業など各主体に期待される役割などについて、さまざまな主体が対等な立場で参加した対話と合意形成プロセス(マルチステークホルダー・プロセス)により、指針の策定を目指しました。

2

*夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～を作成しました。

●事業実施団体

- ・特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター

NPO等からの協働事業提案事業(新しい公共の場づくりのためのモデル事業)

NPO等と県・市町・企業などのさまざまな主体が、協働して地域の諸課題に取り組む事業企画をNPO等から募集しました。NPO等の視点からさまざまな主体に参画を呼びかけ、協働により地域課題に取り組むモデルとして、継続して事業を展開する仕組みの構築を目指しました。

●事業実施団体と事業名

【平成23年度～24年度】

・男女共同参画みえネット

「意思決定の場への男女共同参画」促進応援プラン～寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり～

・穂積製材所プロジェクト実行委員会

島ヶ原地区の林産資源を活かした木工体験ツアーの推進

・特定非営利活動法人 伊賀の伝丸

災害にも強い多文化共生地域づくり事業

・特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

日本一のバリアフリー観光県づくり

・特定非営利活動法人 愛伝舎

外国籍児童生徒の放課後学習支援事業

【平成23年度～24年度】

・公益財団法人 三重県国際交流財団

「県域における大規模地震等発生時の外国人住民支援システム構築事業」

・特定非営利活動法人 大杉谷自然学校

「森林環境教育促進事業」

・特定非営利活動法人 Mブリッジ

「“対話”(ダイアログ)を活用して、企業とNPO間の理解を促進し、地域がよくなる協働アイデアを生み出す事業」

・特定非営利活動法人 atrio

「NPOがつなぐ地域と学校連携プロジェクト～教育 CSR のネットワークづくり～」

・特定非営利活動法人 人材育成センター

「農業分野における障がい者雇用促進プラン」

・特定非営利活動法人 市民社会研究所

「家族そろって日本語講座@飯野高校」

| | |
|----------|--|
| <p>4</p> | <p>三重県NPO法人活動実態調査事業【平成 23 年度】</p> <p>NPO法人が自立した活動をするために必要となる支援などを把握するため、NPO法人の活動実態や課題等に関して調査を行いました。</p> <p>●事業実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター <p>NPO法人の条例指定制度に関する検討【平成23年度】(県が実施した支援事業)</p> <p>新寄付税制により、各自治体が条例において寄付優遇ができるNPO法人を個別指定することが可能となることなどをふまえ、寄付優遇できるNPO法人を条例で個別指定する基準等について検討しました。</p> |
| <p>5</p> | <p>共通事務に関する事業【平成 22 年度～25 年度】</p> <p>●三重県新しい公共支援事業フォーラム～2年間の成果を共有し「協創の三重づくり」を加速させる！～</p> <p>2年間の取り組みを確実に新しい公共の実現につなげていくことが大切であるため、このフォーラムでは、県から事業採択を受けた事業者からの報告などを行い、事業で得られた成果、見えてきた課題などを共有し、それぞれの活動に活かしていくことを目的として開催しました。</p> <p>開催日時:平成25年6月30日(日曜日) 13:00～17:00</p> <p>●NPO活動推進自治体フォーラム三重大会「地域に新しい公共を築くために」</p> <p>2年間の「新しい公共支援事業」を踏まえて、真に「新しい公共」の社会を実現させていくためには、今後どのようなことに留意し、どのような行動をすることが必要なのか。全国の先進事例を中心に、行政やNPO、企業など、さまざまな主体の皆さんと一緒に考える機会として実施しました。</p> <p>開催日時:平成25年7月1日(月曜日) 10:00～16:00</p> <p>●運営委員会、専門委員会 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県新しい公共支援事業運営委員会 第1回～第6回開催、第7回開催予定 ・NPO等からの協働事業提案事業(新しい公共の場づくりのためのモデル事業)専門委員会 計13回開催 |